

| | | | | | |
|--|--|---------------------------------|---|---------------------------------|-------|
| 宇部工業高等専門学校 | | 開講年度 | 令和05年度 (2023年度) | 授業科目 | 国語Ⅱ A |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 科目番号 | 22001 | 科目区分 | 一般 / 必修 | | |
| 授業形態 | 講義 | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 1 | | |
| 開設学科 | 電気工学科 | 対象学年 | 2 | | |
| 開設期 | 1st-Q | 週時間数 | 4 | | |
| 教科書/教材 | 『精選 論理国語』『精選 古典探求 漢文編』(明治書院)、「常用漢字の標準演習 改訂版」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社) | | | | |
| 担当教員 | 薄井 信治,赤迫 照子 | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 文章や詩歌の背景と要点を理解でき、短い説明文が書ける(定期試験) 常用漢字の読み書きができる(小テスト) 問題の考え方や解き方を身に付ける(定期試験、口頭試問、評論文読解演習、小テスト) 漢文や漢詩の背景と要点を理解でき、短い説明文が書ける(定期試験) 漢文や漢詩、漢語についての質問に答えられる(口頭試問、定期試験) 授業レポートを指定の形式で書ける。(レポート) | | | | | |
| ループリック | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 最低限の到達レベルの目安(可) | 未到達レベルの目安 | |
| 評価項目1 | 口頭試問に9割以上正答できる。 | 口頭試問に8割以上正答できる。 | 口頭試問に7割以上正答できる。 | 口頭試問に5割しか正答できない。 | |
| 評価項目2 | 小テストに8割以上正答できる。 | 小テストに7割以上正答できる。 | 小テストに6割以上正答できる。 | 小テストに5割しか正答できない。 | |
| 評価項目3 | 授業レポートを指定の形式で、かつ説得力ある文章で書ける。 | 授業レポートを指定の形式と字数で書ける。 | 授業レポートを指定の形式で書ける。 | 授業レポートを提出できない。 | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 概要 | 現代文では、検定教科書を用いて、評論文を重点的に読むことで、論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、思考する力を高めていく。漢文では、検定教科書を用いて、詩文の読み方に習熟することで、日本語と日本語の文章に対する感覚を養う。 | | | | |
| 授業の進め方・方法 | 教科書本文の読解をし、内容理解の確認のために口頭試問を行う。 | | | | |
| 注意点 | 教科書とノートをお忘れなく持って来なければならない。そうしなければ、教科書本文から答えを探す問題や前回ノートに書いたことを答える問題ができず、口頭試問点が減点になる。 漢文は非常に完成度の高い人工言語である。そして訓読漢文は日本人が血肉としてきたものである。訓読することで、省略されることの多い主語や目的語が分かり、品詞や時制が分かるようになる。日本語は、いつ、どこで、だれが、といったことを曖昧なままで使うことができる言語である。そんな日本語にとって、訓読漢文は外してはならない芯なのである。訓読漢文に親しみ、読めるようになって、日本語の力を向上させて欲しい。 | | | | |
| 授業の属性・履修上の区分 | | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング | | <input type="checkbox"/> ICT 利用 | | <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 | |
| <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 | | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | | |
| 前期 | 1週 | ガイダンス 評論1・①② | 「いのちのかたち」を読むことで、パラグラフ・リーディングが理解できる。 ・全体の構造が重要であることが理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる | | |
| | 2週 | 評論1・③④ | 「いのちのかたち」を読むことで、パラグラフ・リーディングが理解できる。 ・全体の構造が重要であることが理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる | | |
| | 3週 | 故事・寓話①② | 「塞翁馬」「五十歩百歩」を読むことで、訓読漢文の読み方を確認する。 | | |
| | 4週 | 評論2・①② | 「『間』の感覚」を読むことで、パラグラフ・リーディングが理解できる。 ・全体の構造が重要であることが理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる | | |
| | 5週 | 評論2・③④ | 「『間』の感覚」を読むことで、パラグラフ・リーディングが理解できる。 ・全体の構造が重要であることが理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる | | |

| | | | |
|--|----|-----------------|--------------------------------------|
| | 6週 | 思想①② | 「孟子」「荀子」を読み、古人のものの見方や考え方を理解できる。 |
| | 7週 | 思想③④ | 「孟子」「荀子」を読み、性善説と性悪説について意見を述べることができる。 |
| | 8週 | 定期試験 試験返却と解説 | 試験解説により、問題の解き方の理解を深める。 |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 | |
|-------|---------|---|-----------|---|-----|-------------------------|
| 基礎的能力 | 人文・社会科学 | 国語 | 国語 | 論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 | 3 | 前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8 |
| | | | | 論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。 | 3 | 前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8 |
| | | | | 文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。 | 3 | 前3,前6,前7,前8 |
| | | | | 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 | 3 | 前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8 |
| | | | | 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 | 3 | 前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8 |
| | | | | 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 | 3 | 前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8 |
| | | | | 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。 | 2 | 前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8 |
| | | | | 相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。 | 3 | 前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8 |
| | | 新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。 | 2 | 前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8 | | |

評価割合

| | 試験 | 小テスト | レポート | 口頭試問 | 合計 |
|---------------|----|------|------|------|-----|
| 総合評価割合 | 60 | 15 | 15 | 10 | 100 |
| 知識の基本的な理解 | 40 | 5 | 5 | 5 | 55 |
| 思考・推論・創造への適応力 | 20 | 10 | 10 | 5 | 45 |